

平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月14日

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所 東
 コード番号 8254 URL http://www.saikaya.co.jp/
 代表者(役職名) 取締役社長兼社長執行役員(氏名) 岡本 洋三
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経理部長(氏名) 古性 武志 (TEL) 044 (211) 3157
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日~平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	27,743	△4.6	426	△37.7	232	△51.4	185	△63.2
25年2月期第3四半期	29,090	△0.8	685	△4.7	477	6.3	503	18.8
(注) 包括利益 26年2月期第3四半期	194百万円(△62.2%)		25年2月期第3四半期		513百万円(21.3%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	5.93	4.36
25年2月期第3四半期	16.13	11.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	24,071	3,413	14.2
25年2月期	23,551	3,219	13.7
(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期	3,413百万円		25年2月期 3,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	—	—	0.00	0.00
26年2月期	—	—	—		
26年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日~平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	△5.1	420	△48.6	160	△70.7	110	△80.4	3.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年2月期3Q	31,353,142株	25年2月期	31,353,142株
26年2月期3Q	130,571株	25年2月期	129,499株
26年2月期3Q	31,223,390株	25年2月期3Q	31,224,684株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は平成26年1月14日付で終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) その他	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 連結売上高	11
(2) 店別売上高	11
(3) 商品別売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成25年3月1日～平成25年11月30日)におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策や日銀の金融緩和の効果により円安・株高が進み、大企業を中心に企業収益の改善が図られ、設備投資も持ち直しの動きが見られるなど、企業業績は改善しています。また、雇用情勢も改善し、個人消費についても持ち直し傾向にあり、景気は緩やかに回復しつつあります。しかしながら、海外景気の下振れや、円安による輸入物価の上昇、さらには消費税率引き上げなど景気を下押しするリスクもあり、依然として予断を許さない状況です。

百貨店業界におきましては、9月・10月に大型の台風の接近・上陸があり、気温も大きく変化するなど例年になく不順な天候となったことから入店客数に影響を受けましたが、美術・宝飾・貴金属やラグジュアリーブランドなどの高額品が依然として好調であり、大都市の百貨店は引き続き増収基調を維持しています。他方、地方・郊外店舗においては一進一退の状況で推移しており、企業業績に地域差が生じています。

このような状況の下、当社では新たな中期経営計画の達成に向けて、「経営資源の価値向上」、「独自性を持った商品・サービスの提供」、「経費削減等による高い経営効率の実現」の3つの基本戦略に基づいた諸施策の実行に全社を挙げて取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、上記基本戦略にもとづく重点施策として、旗艦店である藤沢店の営業力強化のため全館で改装投資を実施しており、最終段階である地下1階食品フロア「フードダイニング」が11月20日にグランドオープンいたしました。グランドオープンに伴う新規テナントとして、「心と体にやさしい美味しさ、楽しさとスタイリッシュ感を融合させた新しいスタイル」のデリショップ「ニューヨークデリ」や地元藤沢発の総菜専門店「タカギデリ」、百貨店初出店となる新大久保で有名な「Yun`-Deli:Ondoru 韓国家庭料理 おんどう」がニューオープンし、地域のお客様から高い評価をいただきました。町田ジョルナ店におきましても、専門性の高いホビー商品やアニメ関連書籍・アニメキャラクターグッズなどを豊富に取り揃えた「文教堂ホビー・アニメガ」が9月26日にニューオープンし、新しいお客様の獲得に繋がりました。

また、新たなお客様との接点拡大と新しいビジネスモデルへのチャレンジを目的として、11月13日から12月17日の期間、昨年に続き、横浜市港北区の商業施設「トレッサ横浜」に期間限定出店いたしました。今回の出店で4回目となりますが、年々、認知度が向上し、地域のお客様に定着しつつあり、新たなビジネスチャンスの可能性が広がりました。

一方、ローコストオペレーションを更に推進するため、店舗設備の維持管理費用の削減や店舗照明のLED化推進による光熱費の削減など、物件費の削減を中心にコスト削減に取り組みました。

以上のような諸施策を積極的に展開したものの、当社の各店舗におきましては近隣商業施設や商圈間での競争が激しさを増している状況であり、また今期は藤沢店の改装に伴う工事期間中の売上高減少および修繕費等の経費負担増加、9月・10月の天候不順の影響による来店客数の減少などの要因により、当第3四半期連結累計期間の連結業績は前年同期比減収減益となり、売上高は27,743百万円(前年同期比95.4%)、営業利益は426百万円(前年同期比62.3%)、経常利益は232百万円(前年同期比48.6%)、四半期純利益は185百万円(前年同期比36.8%)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産24,071百万円となり、前連結会計年度末に比べ519百万円増加しました。負債については、前連結会計年度末に比べて325百万円増加し20,658百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べて194百万円増加し3,413百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ344百万円増加し2,086百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,486百万円の収入（前年同期比271百万円の収入の増加）となりました。主な増加項目は、減価償却費762百万円および仕入債務の増加額648百万円等であり、主な減少項目は、売上債権の増加額284百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、412百万円の支出（前年同期比529百万円の支出の増加）となりました。主な増加項目は、差入保証金の回収による収入208百万円等であり、主な減少項目は有形固定資産の取得による支出458百万円および長期前払費用の取得による支出233百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、729百万円の支出（前年同期比1,304百万円の支出の減少）となりました。主な減少項目は、長期借入金の純減少額557百万円および社債の償還による支出140百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、平成25年12月19日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

(4) その他

当社は、シダックス・コミュニティー株式会社から、同社が当社横須賀店南館内に賃借のうえ、現在も引き続き営業しているカラオケ店の賃料について、平成22年11月10日付で賃料減額の確認を求める訴訟の提起を受けております。

当社は、両社間での契約事項には何ら問題なく、シダックス・コミュニティー株式会社が主張している主要部分が事実と異なっていることなどから、上記訴訟の減額確認請求には理由がないと考えており、これまで15回おこなわれた口頭弁論において、当社の主張を十分に尽くしております。今後とも、当社の主張に沿った解決を図るべく、引き続き努力してまいります。

なお、本件による当社業績への影響はないと認識しておりますが、重要な影響が判明した場合は、速やかにお知らせします。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,831,987	2,156,388
売掛金	706,918	991,850
商品	1,564,282	1,556,846
貯蔵品	53,062	53,273
その他	258,782	336,318
貸倒引当金	△140	—
流動資産合計	4,414,893	5,094,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,747,086	8,634,185
土地	7,363,709	7,363,709
リース資産(純額)	44,388	40,602
その他(純額)	39,284	30,563
有形固定資産合計	16,194,468	16,069,061
無形固定資産		
その他	96,417	78,165
無形固定資産合計	96,417	78,165
投資その他の資産		
投資有価証券	341,832	356,561
敷金及び保証金	2,251,975	2,043,639
破産更生債権等	25,552	23,326
その他	247,590	426,795
貸倒引当金	△21,940	△20,610
投資その他の資産合計	2,845,010	2,829,712
固定資産合計	19,135,896	18,976,939
繰延資産		
社債発行費	1,016	—
繰延資産合計	1,016	—
資産合計	23,551,805	24,071,617

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	59,884	51,416
買掛金	2,675,090	3,331,720
短期借入金	72,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	981,806	742,680
1年内償還予定の社債	140,000	—
未払法人税等	19,722	16,577
商品券	1,294,057	1,290,061
賞与引当金	33,240	56,429
商品券回収損引当金	637,127	635,189
その他	830,151	1,180,649
流動負債合計	6,743,079	7,364,724
固定負債		
長期借入金	12,248,837	11,930,847
繰延税金負債	222,525	218,291
退職給付引当金	368,878	396,042
資産除去債務	198,449	200,985
その他	550,978	547,445
固定負債合計	13,589,669	13,293,612
負債合計	20,332,748	20,658,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,945,290	1,945,290
資本剰余金	1,637,078	1,637,078
利益剰余金	△337,003	△151,839
自己株式	△41,543	△41,614
株主資本合計	3,203,822	3,388,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,234	24,365
その他の包括利益累計額合計	15,234	24,365
純資産合計	3,219,057	3,413,281
負債純資産合計	23,551,805	24,071,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	29,090,709	27,743,213
売上原価	22,565,990	21,594,649
売上総利益	6,524,719	6,148,563
販売費及び一般管理費	5,839,697	5,721,727
営業利益	685,021	426,835
営業外収益		
受取利息	4,684	2,633
受取配当金	3,022	3,025
負ののれん償却額	10,689	10,689
還付加算金	20,078	324
その他	8,986	11,958
営業外収益合計	47,461	28,631
営業外費用		
支払利息	233,246	202,627
その他	21,603	20,552
営業外費用合計	254,849	223,179
経常利益	477,633	232,287
特別利益		
退職給付制度改定益	66,208	—
特別利益合計	66,208	—
特別損失		
固定資産除却損	3,770	46,393
減損損失	40,127	—
特別損失合計	43,897	46,393
税金等調整前四半期純利益	499,943	185,893
法人税、住民税及び事業税	10,611	10,012
法人税等調整額	△14,270	△9,282
法人税等合計	△3,659	730
少数株主損益調整前四半期純利益	503,602	185,163
四半期純利益	503,602	185,163

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	503,602	185,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,320	9,130
その他の包括利益合計	10,320	9,130
四半期包括利益	513,923	194,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	513,923	194,294
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	499,943	185,893
減価償却費	802,004	762,528
減損損失	40,127	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,463	△1,470
商品券回収損引当金の増減額 (△は減少)	6,692	△1,938
賞与引当金の増減額 (△は減少)	36,394	23,189
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△51,196	27,164
受取利息及び受取配当金	△7,706	△5,658
支払利息	233,246	202,627
有形固定資産除却損	3,770	46,393
売上債権の増減額 (△は増加)	△209,713	△284,932
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△60,005	7,225
仕入債務の増減額 (△は減少)	363,133	648,162
その他	△182,095	124,658
小計	1,471,130	1,733,844
利息及び配当金の受取額	7,620	5,658
利息の支払額	△257,282	△236,310
法人税等の支払額	△7,292	△17,062
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,214,175	1,486,129
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△90,000	△70,000
定期預金の払戻による収入	100,000	90,000
有形固定資産の取得による支出	△224,903	△458,654
有形固定資産の売却による収入	338,579	—
無形固定資産の取得による支出	△6,523	△2,730
投資有価証券の取得による支出	△525	△550
貸付金の回収による収入	21	—
差入保証金の回収による収入	30	208,000
長期前払費用の取得による支出	—	△233,141
その他	—	54,481
投資活動によるキャッシュ・フロー	116,678	△412,596
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△15,400	△12,000
長期借入れによる収入	340,000	2,238,960
長期借入金の返済による支出	△2,100,099	△2,796,076
社債の償還による支出	△240,000	△140,000
リース債務の返済による支出	△17,843	△19,945
その他	△121	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,033,463	△729,131
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△702,609	344,401
現金及び現金同等物の期首残高	2,327,498	1,741,987
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	47,396	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,672,285	2,086,388

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年3月1日 至平成24年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	百貨店業	金融業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	29,088,699	2,009	29,090,709	—	29,090,709
セグメント間の内部売上高 又は振替高	838	12,982	13,821	△13,821	—
計	29,089,538	14,992	29,104,530	△13,821	29,090,709
セグメント利益	681,738	1,580	683,319	1,701	685,021

(注) 1. セグメント利益の調整額1,701千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間において連結の範囲に含めました株式会社さいか屋友の会は、百貨店業に含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「百貨店業」セグメントにおいて、一部の固定資産の売却予定額までの減額分を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失計上額は、当第3四半期連結累計期間においては40,127千円でありませ

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年3月1日 至平成25年11月30日）

当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 連結売上高の内訳

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	29,044,159	98.0	27,704,643	97.9	△1,339,516	95.4
アルファトレンド㈱	565,402	1.9	567,121	2.0	1,719	100.3
㈱エーエムカードサービス	14,992	0.0	—	—	△14,992	—
㈱さいか屋友の会	16,265	0.1	13,506	0.1	△2,759	83.0
小計	29,640,820	100.0	28,285,271	100.0	△1,355,548	95.4
内部売上高の消去	△550,110	—	△542,057	—	8,052	98.5
合計	29,090,709	—	27,743,213	—	△1,347,496	95.4

(2) 店別売上高(単体)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
川崎店	8,156,454	28.9	7,842,478	29.2	△313,976	96.2
横須賀店	7,804,925	27.7	7,335,160	27.3	△469,764	94.0
藤沢店	11,316,522	40.1	10,895,503	40.5	△421,019	96.3
町田ジョルナ	925,978	3.3	820,148	3.0	△105,829	88.6
小計	28,203,881	100.0	26,893,291	100.0	△1,310,589	95.4
テナント及び手数料収入	840,278	—	811,351	—	△28,926	96.6
合計	29,044,159	—	27,704,643	—	△1,339,516	95.4

(3) 商品別売上高(単体)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
衣料品	8,722,236	30.9	8,230,614	30.6	△491,621	94.4
身回品	2,098,364	7.4	1,994,969	7.4	△103,395	95.1
雑貨	3,848,308	13.7	3,891,059	14.5	42,750	101.1
家庭用品	954,242	3.4	949,693	3.5	△4,549	99.5
食料品	10,079,609	35.7	9,522,996	35.4	△556,613	94.5
食堂・喫茶	920,360	3.3	881,300	3.3	△39,060	95.8
その他	1,580,757	5.6	1,422,657	5.3	△158,100	90.0
合計	28,203,881	100.0	26,893,291	100.0	△1,310,589	95.4

外商扱高	5,759,038	20.4	5,522,132	20.5
------	-----------	------	-----------	------